

令和7年度 第2回 宇美町地域公共交通会議議事概要

①開催日時：令和7年12月15日（月）14:00～14:45

②開催場所：宇美町役場3階第2委員会室

③出席者：（順不同・敬称略）

[委員]

原田（会長）、山本（株木村タクシー）、中尾（合屋タクシー株）、大嶋（九州旅客鉄道株）、鶴川（小学校区コミュニティ運営協議会）、江口（自治会長会）、辻（宇美こども子育てネット・う～みん）、小河（民生委員・児童委員）、黒川（町議会議員）、松永（福岡県土整備事務所）、佐田（粕屋警察署）、大井（大分大学・有識者）

[代理出席]

泉田（西日本鉄道株式会社・池田代理）、辻（九州運輸局福岡運輸支局・永松代理）、野本（福岡県交通政策課・三重野代理）

[事務局]

シティプロモーション課 竹下、浦本、村上

1 開会挨拶

（会長）本年度第2回目の地域公共交通会議・地域公共交通活性化協議会となる。本日、地域公共交通会議では、のるーと宇美の運行及び9月から10月にかけて実施したのるーと宇美満足度アンケートの結果について報告する。あわせて、宇美町地域公共交通会議設置条例の一部を改正する必要が生じたため、改正内容等について説明を行う。

後半の地域公共交通活性化協議会では、宇美町地域公共交通計画に基づき、本年度の施策事業の取組状況について報告する。

2 報告事項

①のるーと宇美の運行及びアンケート結果に関する報告

（事務局）説明

（会長）のるーと宇美の運行について、月別利用者数の推移、予約ツールの割合などについて、あわせてアンケート結果の報告を行った。

これについて、ご意見、ご質問がある方はどうぞ。

(江 口) 月別利用者数の推移が当初から見ると上がってきてているが、令和7年7月以降、減少している原因は分かっているか。

(事務局) 8月はお盆期間の運休が、9月は祝日が多かったことなど、運行日数も影響していると考えられる。

(黒 川) 利用者が増加している中で、時間帯の延長や日曜日・祝日の運行、台数の増加などについて検討は行っているか。

(事務局) アンケート結果からも、運行時間や運行日の拡充などについて要望があることは把握できた。今後、資料等を集めながら、協議検討を行っていく。

(鶴 川) アンケート結果を見ると、日頃利用されている方は利便性を感じているが、日頃利用されていない方は予約がとれない、乗車時間が長いという印象になっていると感じる。のるーとの特性について町はもっと広報をしていく必要がある。

あわせて、のるーとA Iの学習進捗はどうなっているか。

(中 尾) 運行事業者として、道路状況等を踏まえながら判断できるところまでA Iの進捗が進んでいないのが現状だと感じている。A Iの進捗にはまだ時間がかかる。

(泉 田) 西鉄バスの運賃改定を一昨年に実施する前は西鉄バスの初乗運賃が170円で、のるーとの運賃は200円。バスとタクシーの間にのるーとがあったが、運賃改定後、現在の西鉄バスの初乗運賃が210円となったことで逆転している。近隣でのるーとを運行している町も、宇美町の料金設定を参考にされているのが現状。当初の想定どおり、のるーとは、「バスとタクシーの間」ということを認識して料金設定を考えてほしい。

(事務局) 料金設定についても今後協議をしながら検討していく。

（大 井）利用者が多い時間に少し料金をあげるという方法もある。時間帯で差をつけることで、タクシーやバスとうまくすみ分けができる。ただ、物価が高騰している社会情勢を考えると、のるーとの料金をあげる時期に来ていると思う。

（ 辻 ）福岡運輸支局として、他市町の交通会議に出席しているが、のるーとの利用者も増加しており、L I N E の予約も多く、満足度も高い。こんなにうまくいっている町は他にないという印象。今後の課題として、予約のとりづらさがあげられるが、この予約のとりづらさを定量的に図れる指標はあるか。

（事務局）毎月の定例会の中で、事前予約と即時予約それぞれについて、乗車完了した予約と、キャンセルした予約について、乗車希望時間と予約時間の差を指標として見ている。事前予約をキャンセルした時間の差は平均5分程度だが、即時予約をキャンセルした時間の差は平均45分となっており、今すぐ乗りたいと思っても希望した時間に予約がとりづらいことがわかる。ただ、これは、完了した予約しか見られないので、すぐに乗りたいと思い時間を検索したが、待ち時間が長いため予約をしなかった人の数がわからない。実際はもっと乗車希望時間と予約時間の差が大きくなっていると思われる。

（ 辻 ）ありがとうございます。先程、大井教授からも利用者が多い時間に運賃をあげるという供給側からのアプローチについて提案があったが、需要側の利用者にも状況を理解してもらう必要がある。混み合う時間がわかる表を車内に掲示して、需要のバランスをとってもらう。供給側と需要側と両面からアプローチできればいいと思う。

（松 永）山間部では乗合タクシー等を運行しているところもあるが、乗合タクシー等について宇美町でも今後計画はあるか。

（事務局）現時点では計画はない。のるーとで、山間部への対応もできていると考えている。

（会 長）運行時間を延ばすことについてはどうか。台数や乗務員の勤務シフトの問題、他の交通機関とのバランスをいかにとっていくかが問題。西鉄バスやタクシー会社としての意見はどうか。

(中 尾) 労働時間の問題として、1人の乗務員の残業時間が年間360時間を超えてはいけない。運行時間を延ばすと、新たに1人乗務員を確保し、シフト編成を考えなければいけない。早朝から動かすと行つても、労働時間の問題を考えると、そんなに早くからは出せない。

また、のるーとが発達していくことで、本業のタクシーの営業に影響が出てくる。

(会 長) のるーと宇美は、従来のハピネス号からの移行で、従前運行していた曜日、時間を基本として2年運行してきた。その中で運行時間や運行日の拡充について新たなニーズが出てきているが、今後も事業者や利用者の意見を聞きながら、財政面のバランス等を考慮して慎重に審議しながら進める。

(泉 田) バスとのるーとそれぞれに役割を持っている。ローカルな部分をのるーと宇美が、幹線の部分を路線バスが担うという役割で運行していきたい。

(鶴 川) のるーと宇美は路線バスやタクシーと競合しないという基本方針であれば、運行時間や運行日の拡充は矛盾しているように感じる。拡充については、たとえばタクシーの営業を侵さない範囲で考えているという認識でよいか。

(事務局) おっしゃるとおり。全体的なバランスをとりながら調整していく。

(会 長) 運行時間を大幅に拡充することは現実的に難しくても、15分でも30分でも延びることで改善できることがあると思う。どこまでならできるのか、議論していく必要がある。

(黒 川) のるーとだけでなく、他の公共交通事業者とのバランスが大切。アンケート結果を見ると、運行時間や隣接の町への乗り入れなど、要望がエスカレートしていると感じる。あくまでも、バスとタクシーの間の乗り物であることをわかってもらえるように広報が必要。

(事務局) おっしゃるとおり。のるーとだけで完璧な乗り物ではない。7月の広報でも特集を組んだが、今後も公共交通のそれぞれの特性やすみ分け、使い方を周知していく。

(会長) 次に、2件目の案件に移る。事務局から説明を求める。

②地域公共交通会議並びに地域公共交通活性化協議会の一体化及び運賃協議会の組織について

(事務局) 説明

(会長) 地域公共交通会議並びに地域公共交通活性化協議会の一体化及び運賃協議会の組織について説明を行った。条例の改正は議会の議決案件のため、3月議会に上程予定。次回の交通会議を3月頃に予定しているため、そのときに詳しく説明する。これについて、ご意見、ご質問がある方はどうぞ。

(意見・質問なし)

③その他報告

(会長) その他として、JRさんから資料をいただいているので説明をお願いします。

(大嶋) JRから2点お知らせがある。1点は、寺社巡り切符を行った。宇美八幡宮にも特別御朱印を作ってもらった。九州で73社に協力いただき、総期間で5,000枚を超える実績があった。来年の2月から特別御朱印巡りという企画名で行うことが決定しており、宇美八幡宮にもまた協力してもらうこととなっている。今後も広報活動を行っていく。

2点は、現在鹿児島本線で交通系ICカードではなく、クレジットカードで乗車できるサービスがあるが、香椎線にも来年秋ごろ導入予定。